

高蔵寺ニュータウン地区における学校統合に 向けた基本方針（中間案）概要

基本方針の策定にあたって

本市では、子どもたちの数が減少する中、より良い教育環境の実現を図るため、一定の学校規模を確保することが望ましいと考え、学校の適正規模や適正配置について検討を進めてきました。

高蔵寺ニュータウン地区については、地域のつながりや結びつきが強い地区であることを踏まえ、高蔵寺ニュータウン地区全体で基本方針を策定し、取組を進めていきます。

児童生徒数推計

過小規模	全学年でクラス替えができない規模
小規模	クラス替えができない学年がある規模
やや小規模	(中学校のみの区分) 小規模だが、全学年でクラス替えができる規模

1 藤山台中学校

学 年	R 8 (やや小)		R 14 (やや小)		R 20 (過小)		R 22 (過小)	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	61	2	36	2	33	1	29	1
2 年	58	2	39	2	33	1	29	1
3 年	56	2	50	2	33	1	33	1
合 計	175	6	125	6	99	3	91	3

2 岩成台中学校

学 年	R 8 (やや小)		R 14 (やや小)		R 20 (やや小)		R 22 (やや小)	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	82	3	77	3	72	3	61	2
2 年	79	3	85	3	54	2	63	2
3 年	82	3	82	3	76	3	72	3
合 計	243	9	244	9	202	8	196	7

3 高森台中学校

学 年	R 8 (やや小)		R 14 (やや小)		R 20 (やや小)		R 22 (やや小)	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	66	2	70	2	40	2	51	2
2 年	95	3	73	3	54	2	53	2
3 年	92	3	82	3	62	2	40	2
合 計	253	8	225	8	156	6	144	6

4 石尾台中学校

学 年	R 8 (やや小)		R 14 (やや小)		R 20 (やや小)		R 22 (やや小)	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	100	3	65	2	40	2	37	2
2 年	109	4	84	3	38	2	40	2
3 年	112	3	75	3	57	2	40	2
合 計	321	10	224	8	135	6	117	6

各中学校区内の小学校の児童数推計の合計

単独の中学校区では、適正規模の課題の解決ができない中学校区があることから、隣接する中学校区とあわせた検討を行うこととします。

1 藤山台中学校区（藤山台小学校）

学 年	R 8（小）		R 14（小）	
	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	35	1	37	2
2 年	40	2	39	2
3 年	54	2	36	2
4 年	42	2	32	1
5 年	51	2	37	2
6 年	55	2	37	2
合 計	277	11	218	11

R 22（過小）	
児童数	学級数
26	1
25	1
26	1
26	1
27	1
29	1
159	6

2 岩成台中学校区（岩成台小学校、岩成台西小学校）

学 年	R 8（適正）		R 14（適正）	
	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	65	2	60	2
2 年	73	3	42	2
3 年	73	3	64	2
4 年	88	3	68	2
5 年	87	3	70	2
6 年	84	3	76	3
合 計	470	17	380	13

R 22（適正）	
児童数	学級数
43	2
44	2
47	2
50	2
51	2
53	2
288	12

3 高森台中学校区（高森台小学校、中央台小学校、東高森台小学校）

学 年	R 8（適正）		R 14（適正）	
	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	74	3	52	2
2 年	75	3	66	2
3 年	86	3	74	3
4 年	89	3	62	2
5 年	83	3	66	2
6 年	90	3	72	3
合 計	497	18	392	14

R 22（適正）	
児童数	学級数
49	2
49	2
51	2
51	2
53	2
54	2
307	12

4 石尾台中学校区（玉川小学校、石尾台小学校、押沢台小学校）

学 年	R 8（適正）		R 14（適正）	
	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	66	2	40	2
2 年	82	3	38	2
3 年	71	3	57	2
4 年	103	3	45	2
5 年	92	3	68	2
6 年	89	3	68	2
合 計	503	17	316	12

R 22（過小）	
児童数	学級数
22	1
26	1
28	1
30	1
33	1
35	1
174	6

基本方針

子どもたちにとって『より良い教育環境の実現』を図るため、これまでの取組を踏まえ、高蔵寺ニュータウン地区における学校統合に向けた方針を示します。

方針 1

高蔵寺ニュータウン地区を2つの地区に分け、それぞれの地区で最適な学校統合のあり方を検討します。

(1) 藤山台中学校区と岩成台中学校区

【検討の対象校】中学校：藤山台中学校、岩成台中学校

小学校：藤山台小学校、岩成台小学校、岩成台西小学校

(2) 高森台中学校区と石尾台中学校区

【検討の対象校】中学校：高森台中学校、石尾台中学校

小学校：高森台小学校、中央台小学校、東高森台小学校、
玉川小学校、石尾台小学校、押沢台小学校

- ・ 次のような地域のつながりを踏まえ、2つの地区に分けることとします。
 - ア それぞれの中学校間の距離が最も近い組み合わせです。
 - イ 藤山台中学校区と岩成台中学校区では、PTA活動の一部を共同で実施しています。
 - ウ 民生委員・児童委員の活動では、2つの地区で民生委員児童委員協議会を開催し、情報共有が行われています。
- ・ 登下校については、必要に応じて、バスの利用などの通学手段を検討します。

方針 2

新しい学校が魅力ある学校となるように検討を進めます。

- ・ 小中一貫教育や特色あるカリキュラムの導入など、子どもたちにとって、また、地域にとって、魅力ある学校となるように検討します。
- ・ 地域の方が利用することができるコミュニティスペースの設置など、地域の拠点としての学校づくりを検討します。

方針 3

保護者や地域の方、学校関係者と連携しながら、丁寧に検討を進めます。

- ・ 保護者や地域の方に、検討状況や意見交換の内容などの情報を積極的に発信します。

今後の進め方

今後は、「藤山台・岩成台中学校区」と「高森台・石尾台中学校区」の2つの地区において、それぞれの保護者や地域の代表の方、学校関係者などで構成する「学校づくりを考える懇談会」を組織し、統合の必要性を含め、より具体的な内容について意見交換を行います。また、懇談会での意見交換を踏まえ、それぞれの地区の保護者や地域の方を対象に意見交換会を開催します。

その後、学校を統合することとした場合は、統合に向けた計画を策定していきます。計画では、統合のための具体的な方策やスケジュールなどを示します。

なお、「藤山台・岩成台中学校区」と「高森台・石尾台中学校区」でそれぞれ検討を進めていく中で、進行状況に違いが生じた場合は、統合に向けた計画をそれぞれの地区で策定することを検討します。

【参考】春日井市東部地域学校区図

